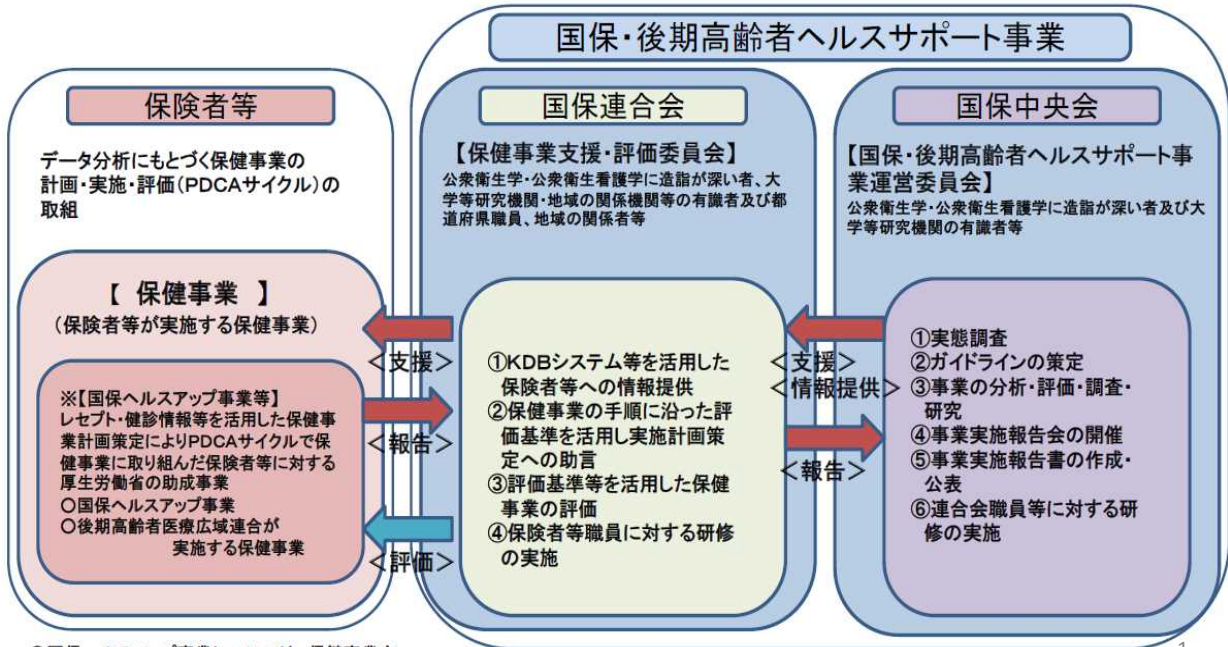


データヘルス計画策定に向けた支援・評価委員会、 国保連合会の支援体制

国民健康保険中央会

国保・後期高齢者ヘルスサポート事業

○ 平成26年度、国保中央会・国保連合会では、47都道府県国保連合会に「**保健事業支援・評価委員会**」を設置し、保険者支援を開始した。



○国保ヘルスアップ事業については、保健事業支援・評価委員会から評価を受けることが必須要件

保健事業支援・評価委員会の活動

- 保健事業支援・評価委員会では、保険者が行うデータヘルス計画の策定や個別保健事業の計画・実施・評価に対し、PDCAサイクルに沿った事業展開となるよう助言、支援を行っている。

「保健事業支援・評価委員会」委員による報告会の様子



2

国保連及び支援・評価委員会の役割

「保健事業の実施計画(データヘルス計画)策定の手引き」より

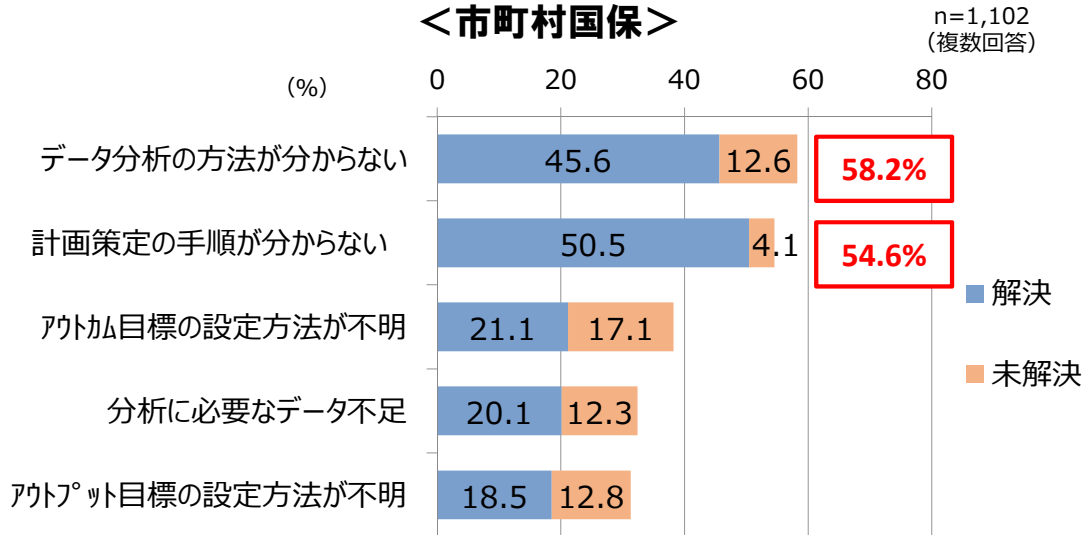
- 各国保連に設置された支援・評価委員会は、**計画の策定支援や個別の保健事業の実施支援等**を行っており、**多くのノウハウが蓄積**されている。このため、保険者等は、可能な限り支援・評価委員会の支援・評価を受けることが望ましい。これに対し、支援・評価委員会は、そのノウハウや委員の幅広い専門的知見を活用し、保険者等への支援等を積極的に行うことが期待される。

3

保険者におけるデータヘルス計画策定時の課題

○ データヘルス計画の策定に当たっては、「データの分析方法が分からない」、「計画策定の手順が分からない」と50%以上の保険者が課題と感じていた。

データヘルス計画策定時の課題(上位5項目)
 <市町村国保>



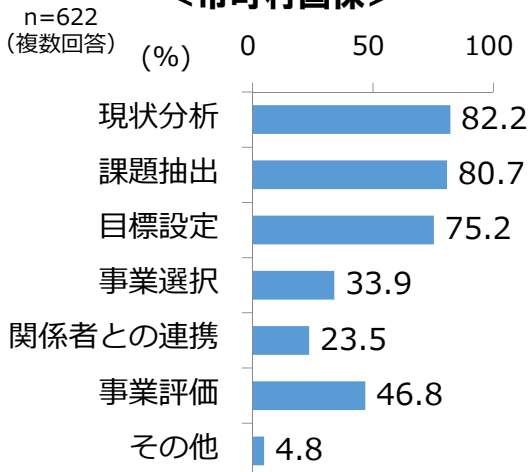
平成28年8月「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業実態調査結果」より値を抜粋

4

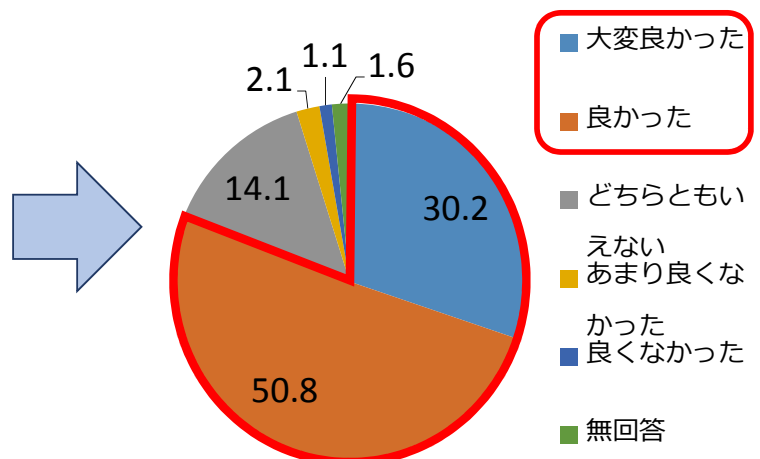
保健事業支援・評価委員会の効果

○ 保健事業支援・評価委員会によるデータヘルス計画策定支援に対する評価は、「大変良かった」と「良かった」をあわせると、市町村国保では8割となっている。

支援を受けたデータヘルス計画の内容
 <市町村国保>



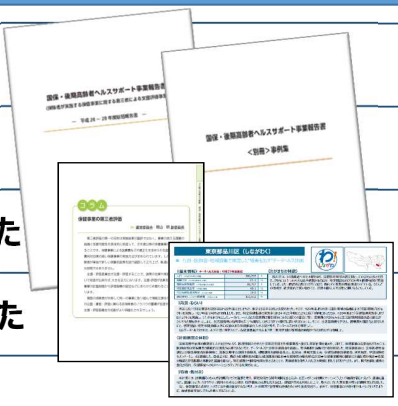
データヘルス計画への支援に対する評価
 <市町村国保>



平成28年8月「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業実態調査結果」より

5

10の成果 (国保・後期高齢者サポート事業報告書より)

①全国47都道府県での支援・評価委員会の設置された	
②国保連合会の保険者支援活動が進化した	
③保険者支援の基本的な考え方を示したガイドラインを策定した	
④保険者支援による保健事業の実態や課題の把握と共有できた	
⑤保険者支援のあり方について報告会等を通じてより深まった	
⑥保険者等への支援を通じて、PDCAサイクルに基づき保健事業の実施の重要性が浸透した	
⑦事業評価の重要性についての意識付けできた	
⑧支援申請をしていない保険者等へも活動の広がった	
⑨KDBシステムの活用について保険者等へ浸透した	
⑩実態調査によるヘルスサポート事業の成果と課題の明確化された	

6

今後の国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の方向性

(国保・後期高齢者サポート事業報告書より)

- ◆保険者へのヘルスサポート事業活用への積極的な働きかけ
- ◆第1期データヘルス計画の評価を踏まえた保険者支援
- ◆求められる助言内容の変化や支援希望数等の増加への対応
- ◆国保組合への積極的な支援
- ◆市町村との連携も視野に入れた後期高齢者広域連合への支援
- ◆都道府県・保健所の積極的な関わりへの期待
- ◆KDBシステムの活用による保健事業実施や事業評価を簡便に行う環境整備
- ◆国保連合会の機能強化

7